

災害避難行動マップ

作成：比良西学区連絡協議会 作成支援：西区役所・西消防署 令和4年3月発行

地震への備えと対応

日頃の備え

- 家具の転倒防止など耐震対策はできていますか
- 食料・飲料など非常持出品などの準備はできていますか
- 隣近所と顔の見える関係づくりをしましょう
- 日々災害が発生した場合のシミュレーションをしてみましょう
 - ・自宅内の棚や窓ガラス等から身を守る場所はどこか
 - ・自宅周辺の危険物・高い場所・広い場所は何があるか
 - ・家族との連絡方法を確認(災害伝言ダイヤルやSNS等)

激しい揺れ

(あわてない! 冷静に)

- 机の下などで頭を守り揺れがおさまるまで待つ
- 安全に消せる場合は火を消す
- 家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意



提供:効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

揺れがおさまった

- 火の元の確認、電気のブレーカーを落とす、ガスの元栓を閉める出火したら逃げ口を背にして初期消火
- 家族の安否・自宅の状況を確認
- 非常持出品の用意や避難の準備



組内で安否確認・救助

- 隣近所に声をかけて安否確認
- 生き埋め者の救助活動・ケガ人の手当
- 助けが必要な場所に応援を求める



一時集合場所へ集合

(安否情報を持ち寄る)

- 町内の安否確認、被害情報の共有
- 救助活動や避難支援の協力



指定緊急避難場所へ避難

ブロック塀や建物の倒壊に注意し、安全なルートを通ってできるだけグループで避難

表のマップを参考に記入しましょう!

余震が続くとき



最寄りの避難先

- 小学校のグラウンドなど屋外の広くて安全な場所

火災が発生したとき



最寄りの避難先

洗堰緑地

- 広域避難場所など火災の延焼から身を守ることができる場所

震災の危険解消

自宅での滞在が可能か

在宅避難

指定避難所

自宅に住めない状況って?

- 家が倒壊、または余震で家が倒壊しそう
- 家中に物が散乱していて動くと非常に危険など

自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を!

避難所は多数の方が避難生活を送るため、大きな負担がかかることや、感染症のリスクが高まることが想定されています。倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を続ける「在宅避難」を考えましょう。



周囲に在宅避難を知らせよう!



周囲で声かけし、食料や物資を分け合おう!

風水害への備えと対応

風水害時の行動

台風が発生した 情報収集

- テレビ・ラジオ・スマホなどから台風の規模、予想進路、到達する時間や川の水位などの情報を入手
- 非常持出品の確認

台風や大雨が来るぞ!! 準備

- ハザードマップで指定緊急避難場所や浸水想定区域等の確認
- 家族との連絡方法の確認
- 家の周りの飛ばされやすいものや、流されやすいものの片付け
- 土のうや水のう、側溝の詰り除去等の浸水対策
- 町内や組長との情報共有や連絡手段の確認をする



雨足が強くなってきた!! 避難の判断

- 情報収集を続けて、避難開始時期を判断
- テレビ・ラジオ等 緊急速報メール 防災スピーカー 広報車等
- 避難情報の発令前に指定緊急避難場所(小学校など)へ自主避難する場合には、事前に区役所へ相談する

- 洪水・内水氾濫・高潮の想定浸水深より下の階にいる
- 家屋倒壊等氾濫想定区域にいる
- 浸水継続時間が3日以上地域にいる

どれか一つ以上該当する

該当しない

避難情報発令で避難開始!

警戒レベル	名古屋市中から出される避難情報	とるべき行動
5	きんぎゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 必ず発令されるとは限りません	命の危険 直ちに安全確保
4	ひなんしじ 避難指示	危険な場所から 全員避難
3	こうれいしゃどうひなん 高齢者等避難	避難に時間のかかる 高齢者や障害のある人などは 危険な場所から避難

※警戒レベル1、2は気象庁が発表する注意報など

浸水被害を軽減するために

側溝・雨水枡の清掃

排水溝の入口に落ち葉やごみがあると道路冠水の原因になります。定期的に側溝や雨水枡の清掃を行いましょう。



家財の移動

浸水から守るため、電化製品や貴重品、食料や生活用品など、あらかじめ高い場所へ移動させておきましょう。



簡易水防工法

浸水が浅い初期であれば、土のうや水のうを使った簡易水防工法で家の中への浸水を遅らせたり、防いだりすることができます。事前に準備しておきましょう!

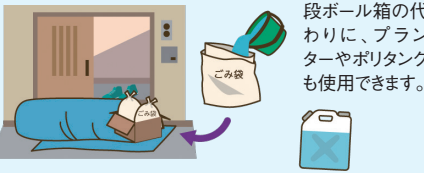
止水板による工法

長めの板と土のうを使用します。



簡易水のうと段ボール箱による工法

土のうや水のう(45リットル程度のごみ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れたもの)を段ボール箱に入れて、レジャーシートで巻き込み、使用します。



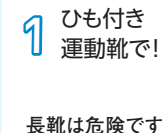
段ボール箱の代わりに、プランターやポリタンクも使用できます。

台風の接近前や大雨の前に行います。危険が迫ってきたら速やかに避難を!

自宅などにとどまる

避難時の注意点

- 1 ひも付き運動靴で! 長靴は危険です!
- 2 隣近所に声をかけて、地域で助け合いましょう!
- 3 移動するときは、傘や長い棒などで足元を確認!
- 4 水かさが増してきたら、無理せず最寄りの高い所へ



長靴は危険です!



最寄りの避難先

表のマップを参考に記入しましょう!

避難のタイミング

- ☐ 発令前に自主避難
 - ☐ 高齢者等避難
 - ☐ 避難指示
- 安全に避難できるタイミングを考えましょう!

地震・風水害共通 備蓄物資・非常持出品の準備

避難生活に必要なものを備蓄

電気やガス、水道などが止まっても生活できるように**7日分程度**、家族の人数も考慮して備蓄しましょう。

- ☐ 非常食、常温で保存のきく食品
- ☐ 飲料水(ひとり1日3リットル)
- ☐ 持病の薬、常備薬
- ☐ トイレ用品
- ☐ 燃料(カセットボンベなど)



命を守るために必要な持出品を用意

いざというときすぐに持ち出せるように、3日分の食料や衣服など必要なものをリュックなどにいれて用意しましょう。

